

# トピック

超大吊橋や高層建築物の風洞実験に、

データ処理装置 DAAS-5000 を採用

——石川島播磨重工(株)——

最近、長大吊橋や高層建築などにみられるように、構造物が長大化するにつれて、風による振動が問題になってきている。これらの研究のために、石川島播磨重工業株式会社では、早くから大きな風洞を用いて、実験的研究を行なっている。ここに紹介する DAAS-5000（共和技報 No. 188, Oct. 1973）は、最近株式会社共和電業が納めた風洞実験のためのデータ解析処理システムである。

本システムの特長は、採取されたデータが直接 ON-LINE によって解析され、アウトプットがシステム・タイプライタの他にプロッターに打ち出されることである。

とくに吊橋の風洞実験の場合、風による模型の安定状況を調べるための対数減衰率の計算が膨大な量になるが、本システムによって ON-LINE で即座に計算される他、この値がプロッターに等高線を作成して打ち出されるので、実験の迅速化が相当に行なわれている。またシステムタイプライターに打ち出されたデータが、直接大型計算機へのインプットデータとして利用することも行なわれている。

実験担当者の話では、今後このシステムの多面的な利用を考えていきたいとのことである。

